

令和5年度（2023年度）  
地域連携センター事業報告書



拓殖大学 地域連携センター

## ◆令和5年度（2023年度）地域連携センター事業報告書

1. 岩手県盛岡市「文京区学生と創るアグリイノベーション事業」  
■盛岡市役所、跡見学園女子大学、拓殖大学、東京大学、東洋大学
2. 山梨県富士川地域の活性化に向けた取り組み  
■富士川町、山梨県立大学、拓殖大学
3. 長野県上田市「鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト（魅力発見プロジェクト）」  
■上田市、鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト、拓殖大学
4. 八王子城跡の魅力を高めるデザインプロジェクト  
■特定非営利法人 八王子城跡三ツ鱗会、八王子市教育委員会、拓殖大学
5. 滝山地区まちづくり活動支援  
■大学コンソーシアム八王子、NPO法人滝山城跡群・自然と歴史を守る会、拓殖大学
6. 館ヶ丘団地 暮らし向上プロジェクト等の学生活動  
■館ヶ丘団地自治会、UR都市機構、拓殖大学 他
7. 八王子実践高等学校×拓殖大学「高大連携講座」（高校2・3年生対象）  
■八王子実践高等学校、拓殖大学
8. 高尾登山電鉄「社員英語研修」への講師派遣  
■高尾登山電鉄株式会社、拓殖大学
9. 八王子商工会議所・大学コンソーシアム八王子「出前研究室」事業への参加  
■大学コンソーシアム八王子、八王子商工会議所、拓殖大学
10. 中学生のための夏休み いちょう塾  
■大学コンソーシアム八王子、拓殖大学
11. 八王子市「南浅川水辺環境活用」の提案  
■八王子市水環境整備課、拓殖大学
12. 岐阜県美濃市 美濃和紙あかりアート展参加  
■美濃市役所、美濃市観光協会、美濃市商工会議所、拓殖大学 他

## 1. 岩手県盛岡市「文京区学生と創るアグリイノベーション事業」

【盛岡市と拓殖大学との連携・協力に関する包括協定書】

### 1. 事業概要

- (1) 事業テーマ：道の駅を拠点とした地域経済循環の仕組みの構築
- (2) 概要：平成31年2月に東京都文京区と盛岡市とが締結した友好都市提携を契機とし、文京区内4大学と盛岡市が連携し、フィールドワーク等の調査・連携活動を通じた玉山地域の農業資源の掘り起こしと大学の知見を活かした農業の発展を目的とした産学官連携事業。  
共同研究では、地域の農畜産物の高付加価値化を通じ、意欲的な農業生産者の生産活動を支援するため、生産から流通・販売までの一連の経済活動における、消費者と生産者の双方向プラットフォームや各種課題の解決策を提案する。このような文理融合的視点からの共同研究によって地域経済を循環させる仕組み、ひいては持続可能な地域振興の姿を検討する。令和3年度～5年度の3年間継続して研究し、今年度は最終年度としてこれまでの研究成果を総括し発表した。
- (3) 参画大学の研究テーマ  
拓殖大学：「雁喰豆（黒平豆）の生産から販売まで一連の工程における課題解決に向けた取組の推進」  
跡見学園女子大学：「地域コミュニティデザインの視点から見た、「もりおか短角牛」の現状と振興策の検討」  
東京大学：「玉山地域の農業課題分析と振興策の検討」  
東洋大学：「新規就農の農業経営体から見る、多角化経営の分析と将来展望」

### 2. 活動報告

《研究・支援に係る協議等》

- (1) 日程：令和5年3月28日（火）10：00～11：00
- (2) 議題：令和5年度アグリイノベーション事業の進め方に関する協議  
令和6年度以降の活動についての計画
- (3) 場所：文京キャンパスA館2階会議室
- (4) 出席者：盛岡市玉山総合事務所産業振興課 高橋直人、阿部吉将  
拓殖大学 商学部 田嶋規雄先生、工学部 前山利幸先生、  
工学部 佐々木整先生、八王子事務部 斎藤俊章次長、  
杉本栄課長補佐、戸塚範子、忍田健史

《フィールドワーク》

◆工学部 佐々木研究室

- (1) 日程：令和5年7月6日（木）～7月7日（金）
- (2) 場所：岩手県盛岡市玉山地域

- ・盛岡市役所玉山総合事務所
  - ・雅ファーム
- (3) 活動内容：雁喰豆生産者（雅ファーム）での現地視察、豆選別者へのヒアリング他  
(4) 参加者：工学部 佐々木整先生、学生 2名

◆商学部 田嶋ゼミ

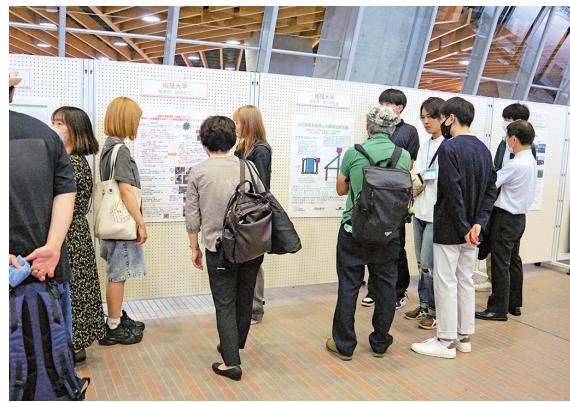
- (1) 日 程：令和5年7月10日（月）～7月11日（火）  
(2) 場 所：岩手県盛岡市玉山地域
  - ・盛岡市役所玉山総合事務所
  - ・JA 新いわて
(3) 活動内容：①プロジェクト進捗報告、大豆専門家（岩手大学名誉教授）へのインタビュー他  
(4) 参加者：商学部 田嶋規雄先生、学生 5名

《イベント共催》

- ◆跡見学園女子大学・拓殖大学共催シンポジウム  
「地方を盛あげ隊！～文京区学生による盛岡アグリイノベーション～」
- (1) 日 程：令和5年7月8日（土）13：00～16：00  
(2) 場 所：跡見学園女子大学ブロッサムホール（東京都文京区大塚）
   
リモート会議ツール（Zoom）を併用したハイブリッド開催  
(3) 内 容：
  - ・アグリイノベーション事業に参加する文京区内の4大学（拓殖大学、跡見学園女子大学、東京大学、東洋大学）から学生を招き盛岡市玉山地域での調査・連携活動の知見を生かし、大学における地域社会でのフィールドワーク教育がもつ意義と課題を検討するパネルディスカッション、学生によるグループワークほか
   
(登壇：工学部4年 土屋祐太、商学部4年 佐久間優衣)
  - ・アグリイノベーション事業各取組のパネル発表
   
(前山研究室、佐々木研究室、田嶋ゼミ)
(4) 参加者：跡見学園女子大学、拓殖大学、東京大学、東洋大学 教職員・学生  
 盛岡市長、文京区長他行政関係者、  
 早田宰（早稲田大学社会科学総合学術院教授）



パネルディスカッション



パネル発表の様子

## 《令和5年度 中間報告会》

- (1) 日 程：令和5年9月20日（水）14：00～17：00  
(2) 場 所：文京区区民センター（東京都文京区春日）  
リモート会議ツール（Zoom）を併用したハイブリッド開催  
(3) 内 容：文京区学生と創るアグリイノベーション事業に係る進捗状況等の報告  
(4) 参加大学：跡見学園女子大学、拓殖大学、東京大学、東洋大学

## 《フィールドワーク》

### ◆工学部 佐々木研究室

- (1) 日 程：令和5年11月30日（木）～12月1日（金）  
(2) 場 所：岩手県盛岡市玉山地域  
・盛岡市役所玉山総合事務所 ・雅ファーム  
(3) 活動内容：雁喰豆生産者（雅ファーム）での現地視察、アプリケーション説明、他  
(4) 参加者：工学部 佐々木整先生、大澤悠也（情報工学科4年）

### ◆商学部 田嶋ゼミ・工学部 永見研究室

- (1) 日 程：令和5年12月20日（水）～12月21日（木）  
(2) 場 所：岩手県盛岡市玉山地域  
・盛岡市役所玉山総合事務所 ・JA新しいわて ・遺跡の学び館  
(3) 活動内容：①JA新しいわてへの煮豆新パッケージの提案  
②玉山区黒平豆研究会代表者インタビュー  
③遺跡の学び館へのインタビュー  
(4) 参加者：商学部 田嶋規雄先生、工学部 永見豊先生 太田瑛士（経営学科4年）  
ほか 学生5名

### ◆工学部 前山研究室

- (1) 日 程：令和6年2月18日（日）  
(2) 場 所：岩手県盛岡市玉山地域  
・盛岡市役所玉山総合事務所  
(3) 活動内容：玉山総合事務所敷地内に試験設置した観測機器の点検  
(4) 参加者：工学部 前山利幸先生、土屋祐太（電子システム工4年）ほか 学生2名





#### 活動の様子

前頁左) 計測機器メンテナンス(前山研)

前頁右) パッケージ提案

(田嶋ゼミ・永見研)

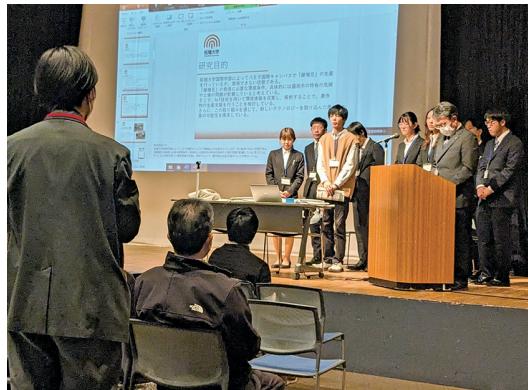
左) 雁喰豆選別行程視察(佐々木研)

右) 雁喰豆新パッケージデザイン案

(田嶋ゼミ・永見研)

#### 《令和5年度 成果報告会》

- (1) 日 程 : 令和6年2月18日(日) 14:00分~17:00
- (2) 場 所 : プラザおでって(岩手県盛岡市中ノ橋1丁目)  
リモート会議ツール(Zoom)を併用したハイブリッド開催
- (3) 内 容 : 今期の活動と3年間の成果報告
- (4) 参加大学 : 跡見学園女子大学、拓殖大学、東京大学、東洋大学



成果発表の様子



参加者集合写真

#### 《研究・支援に係る協議等》

- (1) 日 程 : 令和6年3月21日(木)
- (2) 内 容 : • 令和6年度以降の活動について • 八王子農場視察
- (3) 場 所 : 文京キャンパスおよび八王子国際キャンパス
- (4) 出席者 : 盛岡市玉山総合事務所産業振興課 阿部吉将  
拓殖大学(文京)商学部 田嶋規雄先生、政経学部 山本尚史先生  
(八王子)副学長 山田政通先生、工学部 佐々木整先生、  
国際学部 竹下正哲先生 他  
八王子総務課 忍田健史

## 2. 山梨県富士川地域の活性化に向けた取り組み

【富士川町と拓殖大学との包括連携に関する協定書】

### 1. 事業概要

#### (1) 地方創生「新しい地方創生のカタチつくりプロジェクト」

富士川町との包括連携協定に基づき、地域活性化の各種提案を引き続き検討、提案する。地域活性化を狙った商品開発、ふるさと納税返礼品の開発、平林地区の特産品（トマト）に焦点をあてた活性化策の提案など各種取り組みを実践している。

#### (2) 山梨県・静岡県との広域連携

富士川舟運によって以前から繋がりが深い山梨県南部地域と静岡県に、富士川と平行し、両地域を結ぶ中部横断自動車道が令和3年8月29日に開通した。これにより山梨・長野といった内陸地域と静岡の沿岸地域の連携・交流が深まることで、地域活性化に寄与することが期待されている。

## 2. 活動報告

《現地調査・活動》

#### ◆国際学部 徳永ゼミ・商学部 中嶋ゼミ

(1) 日 程：令和5年5月22日（月）

(2) 場 所：山梨県富士川町 平林地区「平林たはたの宿」、道の駅、町役場他

(3) 内 容：新年度活動の打ち合わせ、たはたの宿活性化プロジェクトの現状確認他

(4) 参 加 者：国際学部 徳永達己先生、商学部 中嶋嘉孝先生、

大学院 国際協力学研究科学生1名

#### ◆山梨中央銀行地方創生推進部訪問

(1) 日 程：令和5年5月29日（月）～30日（火）

(2) 場 所：山梨中央銀行地方創生推進部山梨未来創生室

(3) 内 容：富士川町での本学の取組の紹介と連携の可能性についての情報交換

(4) 参 加 者：国際学部 徳永達己先生、八王子総務課 戸塚範子

#### ◆商学部 中嶋ゼミ

(1) 日 程：令和5年6月17日（土）～6月18日（日）

(2) 場 所：山梨県富士川町 「平林たはたの宿」

(3) 内 容：平林たはたの宿活性化プロジェクト 現地視察、改善策検討

(4) 参 加 者：商学部 中嶋嘉孝先生、

商学部 中嶋ゼミ学生5名、国際学部 徳永ゼミ学生5名

#### ◆商学部 中嶋ゼミ

(1) 日 程：令和5年7月23日（日）

(2) 場 所：山梨県富士川町 道の駅富士川

(3) 内容：道の駅来店客調査

(4) 参加者：商学部 中嶋嘉孝准先生、

商学部 中嶋ゼミ学生 5名、国際学部 徳永ゼミ学生 1名

◆商学部 中嶋ゼミ

(1) 日程：令和5年8月29日（火）～8月30日（水）

(2) 場所：群馬県 甘楽ふるさと館

(3) 内容：平林たはたの宿活性化プロジェクト 比較施設視察・ヒアリング他

(4) 参加者：商学部 中嶋嘉孝先生、

商学部 中嶋ゼミ学生 5名、国際学部 徳永ゼミ学生 4名

◆国際学部 徳永ゼミ・商学部 中嶋ゼミ

(1) 日程：令和5年9月13日（水）～9月14日（木）

(2) 場所：山梨県富士川町 平林地区「平林たはたの宿」、道の駅、町役場他

(3) 内容：たはたの宿活性化プロジェクトの現状確認、町役場との打ち合わせ他

(4) 参加者：国際学部 徳永達己先生

国際学部 徳永ゼミ学生 11名

◆国際学部 徳永ゼミ

(1) 日程：令和5年10月28日（土）～29日（日）

(2) 場所：山梨県甲府市

(3) 内容：山梨県立大学との協定に基づき、人口減少地域に於ける地方創生のために地域の魅力を生かしたブランド力向上の取り組みとして、同県立大学および山梨大学と共に山梨県内最大の祭り「信玄公まつり」に出店し、研究成果を発表

(4) 参加者：国際学部 徳永達己先生、猪瀬さくら（国際4年）他 学生 5名

◆国際学部 徳永ゼミ

(1) 日程：令和5年11月12日（日）

(2) 場所：山梨県富士川町

(3) 内容：人口減少地域に於ける地方創生のために地域の魅力を生かしたブランド力向上の一環として、富士川町最大のイベントである「甲州富士川まつり」へ出店し、研究成果を発表

(4) 参加者：国際学部 徳永達己先生、商学部 中嶋嘉孝先生、根岸宏旭（国協研M2）

ほか学生 5名

◆富士川町新庁舎グランドオープン式典

(1) 日程：令和5年12月23日（土）

(2) 場所：山梨県富士川町 町役場、平林地区「平林たはたの宿」他

(3) 内容：富士川町役場の新庁舎完成式典および平林地区の視察

(4) 参加者：山田政通 副学長、国際学部 徳永達己先生、八王子事務部長 上條聰視



たはたの宿活性化プロジェクト活動の様子



富士川町新庁舎記念植樹（山田政通先生）

### 3. 鹿教湯温泉 100年ブランド創造プロジェクト：長野県上田市

#### 鹿教湯温泉フィールドサーベイ（魅力発見プロジェクト）

【長野県上田市鹿教湯温泉地域の活性化包括連携に関する協定書】

##### 1. 事業概要

鹿教湯温泉 100年ブランド創造プロジェクトと題した地域活性化組織と令和元年度に協定を締結したことで、拓殖大学の学生がまちづくり、地域活性化のための魅力発見プロジェクトに参加する予定であったが、新型コロナウィルス感染拡大により計画が中断していた。令和4年度に活動再開し、今年度より本格的に活動しデザイン提案を実施した。

##### 2. 活動報告

###### 《フィールドサーベイ》

(1) 日 程：令和5年7月8日（土）～7月10日（月）

(2) 場 所：長野県上田市鹿教湯温泉地域

(3) 内 容：3年次学生のデザイン提案に向けた関係者ヒアリング、現地調査

(4) 参 加 者：工学部 工藤芳彰先生、永見豊先生、学生4名

###### 《令和5年度 成果発表》

(1) 日 程：令和5年11月15日（水）

(2) 場 所：リモート会議ツール（Zoom）によるオンライン実施

(3) 内 容：成果報告（デザイン提案）

(4) 参 加 者：工学部 工藤芳彰先生、永見豊先生、

有泉陽可（デザイン4年）ほか 学生9名

斎藤宗治 氏（鹿教湯温泉 100 年ブランド創造プロジェクトリーダー）

## 《フィールドサーベイ》

- (1) 日 程：令和6年3月24日（日）～3月25日（月）
- (2) 場 所：長野県上田市鹿教湯温泉地域 丸子自治センター
- (3) 内 容：成果報告（冊子報告）、プロジェクト検証、次年度打ち合わせ
- (4) 参 加 者：工学部 工藤芳彰先生



文殊の湯 (7/8、案内：斎藤 宗治 氏)



遠隔成果発表 (11/15、遠隔参加：斎藤 宗治 氏)

## 4. 八王子城跡の魅力を高めるデザインプロジェクト

### 【八王子市と拓殖大学との包括連携に関する協定書】

#### 1. 事業概要

- (1) 位置づけ：八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部文化財課、およびN P O 法人八王子城跡三ッ鱗会との公学民連携プロジェクト
- (2) 活動主体：C D S (Community Design Supporters) 11名 + 「デザインプロジェクト・演習」工藤担当課題選択者 2名 - 合計 13名
- (3) 活動概要：文化庁・日本遺産認定ストーリーの筆頭文化財に位置付けられる八王子城跡に着目し、当地を「地域コミュニケーション・ハブ」として利活用していくための基盤づくりとして、魅力を向上させるデザイン提案に取り組んだ。高尾駅北口からバスで10分という好位置と連携先である文化財課職員や三ッ鱗会メンバーによる支援、「禁三密」の状態を取りあい屋外活動などを背景に、結果として9つのデザイン提案を報告書にまとめることができた。令和3年度の提案により、関係者からの高い評価を得て、協定締結に結びついた。本年度も引き続き活動を継続させた。
- (4) 活動成果：提案のうち御城印2種については、準公式版として扱われることが決定しており、さっそく三ッ鱗会でのポストカード化が予定されるなど、今後の利活用が決定している。また、A R (拡張現実) 技術によるアプリケーション3種については、「桑都日本紀伊産遺産センター八王子博物館（はちはく）」の展示の一部として採用され、来場者を楽しませている。

(5) 今後の展開：三者連携化に加え、新たなデザイン提案および実践に取り組む。

## 2. 活動報告

### 《イベント参加》

#### ◆元八マルシェ出店

- (1) 日 程：令和5年5月27日（土）
- (2) 場 所：八王子城跡公園
- (3) 内 容：デザインプロジェクトCDSによる缶バッジ製作・販売
- (4) 参 加 者：工学部 工藤芳彰先生、CDS学生メンバー

### 《フィールドサーベイ》

#### ◆八王子城跡

- (1) 日 程：令和5年10月3日（火）
- (2) 場 所：八王子城跡（八王子市元八王子）
- (3) 内 容：現地調査（ガイダンス施設・御主殿跡）
- (4) 参 加 者：工学部 工藤芳彰先生、石和有希（デザイン学科3年）ほか 学生6名  
増島洋子 氏（城跡オフィシャルガイド）

#### ◆八王子城跡

- (1) 日 程：令和5年10月10日（火）
- (2) 場 所：八王子城跡（八王子市元八王子）
- (3) 内 容：現地調査（ガイダンス施設・本丸）
- (4) 参 加 者：工学部 工藤芳彰先生、石和有希（デザイン学科3年）ほか 学生6名  
村山修 氏（八王子市文化財課）

### 《最終プレゼンテーション》

- (1) 日 程：令和6年1月16日（火）
- (2) 場 所：八王子城跡（八王子市元八王子）
- (3) 内 容：成果報告
- (4) 参 加 者：工学部 工藤芳彰先生、石和有希（デザイン学科3年）ほか 学生6名  
叶清 氏（八王子市文化財課長）ほか 職員3名  
金子信一 氏（三ツ鱗会理事長）ほか 会員11名

### 《イベント》

#### ◆セレオ エキソラマルシェ

- (1) 日 程：令和6年3月16日（土）
- (2) 場 所：JR八王子駅 セレオ屋上
- (3) 内 容：うじてるくん大救出ゲーム出店
- (4) 参 加 者：工学部 工藤芳彰先生、CDS学生メンバー



左) 元八マルシェ缶バッジ販売  
右) デザイン提案  
(デザイン学科 岩淵彩夏)

## 5. 滝山地区まちづくり活動支援 住民と学生の協働による地域愛着を育む取り組みを通じて

【八王子市と拓殖大学との包括連携に関する協定書】

### 1. 事業概要

(1) 活動主体 国際学部授業科目：国際特別講座「実践のまちづくり」（滝山班）

### (2) 背景と社会課題

市内北部の滝山地区は、都内唯一の道の駅である「道の駅八王子滝山」や日本遺産を構成する「滝山城址」を有している。道の駅は賑わっており、城址は本年が築城 500 年にあたり主に滝山城跡文化協会や滝山の自治会連合会などにより保全事業が進められている。一方、八王子駅から離れていることや少子高齢化の影響も受け、地域の衰退化も徐々に進行している。

### (3) これまでの活動の経緯

地域の活性化を目指し、拓殖大学実践のまちづくり（滝山班）では、平成 30 年度より地域関係者と私達学生の協働による滝山地区のまちづくり活動を開始した。前回は「よみがえれ！滝山城城下町～歴史お散歩コース」と題し、平成 30 年度・本事業補助金も得て、滝山を訪れる人や地域の住民に対して地区の魅力を伝えるため、道の駅から城址に至る谷地川周辺ルートのお散歩マップ作成と周辺環境の整備（歩道の草刈り）を実施した。同マップは観光客や住民が訪れたくなるような名所スポットの紹介し、自治会などの地域関係者に配布され好評であった。

本年は滝山城築城 500 年にあたり、地域も盛り上がりを見せ始めている。そこで、昨年はコロナ禍の影響で活動が出来なかつたが、一昨年間に作成したお散歩マップも活用して、さらに活気ある地域づくりを目指した活動を展開する。

私達がこれまでの活動で感じたことは、滝山は魅力ある場所が極めて多いものの、地域資源を有効に活用していないのではないか、ということだ。様々な環境保全活動は

NPO 法人滝山城跡群・自然と歴史を守る会（守る会）等により行われている。

しかし予算や地域住民の参加者の不足により、かならずしも十分な環境整備や情報発信は行われていない。なにより、地域資源の重要性に対する理解不足により、地域の人達の活動参加が限定的であることも課題だと考える。

そこで本年は、一昨年の活動で作成した「お散歩マップ」を活用し、地域活性化を目指した活動を展開する。地元の子どもを対象に現地の守る会とも協働し、未来を担う子どもたちが地域の魅力に気づく契機とする。

## 2. 活動報告

### 《まちづくり活動参加》

- (1) 日 程：令和5年10月19日（木）
- (2) 場 所：滝山城跡（八王子市加住町）
- (3) 内 容：国際学部の科目「実践のまちづくり」への参加学生が、N P O 法人滝山城跡郡・自然と歴史を守る会と連携し中学生向けの地域資源再発見イベント開催を支援
- (4) 参 加 者：国際学部 徳永達巳先生、藍澤淑雄先生  
学生 富樫力丸（国際3年）ほか5名

## 6. 館ヶ丘団地 暮らし向上プロジェクト等の学生活動

### 1. 事業概要

1975年開設以来 2400戸の規模を持つ郊外型団地である館ヶ丘団地、これまで長年にわたり本学および法政大学の学生が数多くの活動を行ってきた。現在本学では国際学部徳永ゼミ・藍澤ゼミ、工学部工藤研究室の学生が活動している。

### 2. 活動報告

#### 《イベント参加》

- ◆館ヶ丘団地 親子 de スポーツ体験会&団地春祭り（令和5年4月30日） 工藤研究室
- ◆館ヶ丘団地 親子 de スポーツ体験会&団地秋祭り（令和5年11月23日）  
C D S（工学部 工藤研究室）、藍澤ゼミ
  - (1) 日 程：令和5年11月23日（木・祝）
  - (2) 場 所：館ヶ丘団地 商店街（八王子市館町）
  - (3) 内 容：缶バッジ製造販売、おえかきせんべい販売
  - (4) 参 加 者：工学部 工藤芳彰先生、国際学部藍澤淑雄先生、各研究室・ゼミ学生

#### 《イベント開催》

- ◆館ヶ丘団地 3街区を利用した世代間交流イベント（同時開催）  
藍澤ゼミ・国際特別講座「実践のまちづくりⅡ」（徳永先生・藍澤先生）

- (1) 日 程：令和5年11月23日（木・祝）  
 (2) 場 所：館ヶ丘団地 第3街区（八王子市館町）  
 (3) 内 容：館ヶ丘団地自治会やURの協力のもと、世代間交流イベントとして  
 　　「1日限定道の駅」をテーマに、キッチンカー・野菜や苗木の販売・ダ  
 　　ンスやバンドの公演を実施。  
 (4) 参 加 者：国際学部 徳永達己先生、藍澤淑雄先生、ほか 学生多数
- ※このイベントは、大学コンソーシアム八王子が実施する「令和5年度 学生企画事業補助金」に応募・採択され「繋げる町、繋がる町～館ヶ丘団地における世代間交流拠点の整備～」として開催しました。



上段3枚、下段左）世代間交流イベント（一日マルシェ）の様子 下段中央）団地まつり出店（工藤研究室）  
 下段右）団地まつり出店（藍澤ゼミ）

## 7. 八王子実践高等学校×拓殖大学「高大連携講座」

【拓殖大学と八王子実践高等学校との教育交流に関する協定書】

### 1. 事業概要

高大連携の一環として八王子実践高等学校と締結した「教育交流に関する協定書」に基づき、特別講座への生徒の受入を行っている。

### 2. 講座内容

#### (1) 2年生対象講座

##### ①担当講師

- ・小島和枝工学部准教授（英語）
- ・小田貴子商学部講師（口頭表現）

##### ②講座テーマ

- ・英語「楽しく学んで Improve Your English Skills！」

- ・口頭表現「楽しく学ぶ口頭表現の技法」
- ③講義曜日・時限
- ・英語 土曜日 1時限目 (9:20~11:05)
  - ・口頭表現 土曜日 2時限目 (11:15~13:00)
- ④受講者数 59名

## (2) 3年生対象講座

### ①担当講師

本学専任教員（商学部、政経学部、外国語学部・工学部・国際学部）

### ②講座内容

「文理融合で学ぶグローバル社会」をテーマとして各教員の専門分野から  
グローバル社会について講義する（オムニバス形式）

### ③講義曜日・時限 土曜日 1時限目 (9:20~11:05)

### ④受講者数 31名

※講座開講場所 八王子国際キャンパス A館511・512教室

## 3. 講座日程

No.	講座日	2年生	3年生	
			講師名	講座テーマ
1	4月15日	○	井内 千紗	ヨーロッパの十字路ベルギーからみえる世界
2	4月22日	○	池田 朋洋	「グローカル」に生きるスペイン語圏の人びと
3	5月 6日	○	関口 美幸	プレゼンテーションでコミュニケーション能力を高めよう！
4	5月13日	○	新田目 夏実	国際的な人の移動と現代社会の諸問題
6	6月17日	○	石川 一喜	特別講座～プレゼンテーション力をアップさせよう！（1日目）
7	6月24日	○	石川 一喜	特別講座～プレゼンテーション力をアップさせよう！（2日目）
8	9月 2日	○		
9	9月 9日	○		
10	9月30日	○	丹羽 文生	台湾の中の「日本」：その魅力を深掘りする
11	10月 7日	○	木原 幸一郎	製図法の歴史から見る日本の技術のグローバル化
12	10月14日	○	蓑原 隆	ロックチェーンの分散合意のしくみ
13	10月28日	○	近藤 真宣	「クール・ジャパン？ 一世界は日本をどう見ているかー」
14	11月 4日	○	佐藤 丙午	戦争論への招待：分裂と対立を深める国際社会の現状と展望
15	11月11日	留学生 交流会	石川 一喜	SDGsの折り返し地点にさしかかり、思うこと・すべきこと
16	11月18日	○	堂野崎 衛	グローバル化の進展と小売業（日本の小売市場を中心に）
17	11月25日	○	山本 尚史	2050年の世界に向けたシナリオを考えてみよう

※2年生の「○」は、講座開講、1時限：英語・2時限：口頭表現を実施。

#### 4. 特別講座、その他

##### (1) 留学生との交流会（2年生対象）

- ①日 程 令和5年11月11日（土） 9：20～13：00  
②場 所 八王子国際キャンパス A511教室、キャンパス各所  
③人 数 高校2年生 59名、本学留学生15名  
(出身国：ベトナム4名、中国3名、台湾、モンゴル、ロシア、大韓民国、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、アルゼンチン各1名)  
④内 容 • 留学生による母国紹介  
• グループ交流（タッピングを見つけてトークテーマを探す）  
• グループディスカッションによる異文化交流 • グループ発表  
⑤協 力 八王子国際課

##### (2) 2年生対象特別講座「大学での学び入門」

- ①担当講師 本学専任教員（商学部、政経学部、外国語学部・工学部・国際学部）  
②講座内容 「大学での学びを体験する」をテーマとして各学部の専門分野を知り、進路選択の一助になる事を目的としたオムニバス形式の講義。  
③講義日程 土曜日1時限目（9:20～11:05）、土曜日2時限目（11:15～13:00）  
④受講者数 58名  
※講座開講場所 文京キャンパスE507教室、八王子国際キャンパスA館511教室、エレクトロニクス実験室I

日付	曜日	行事予定	1限 担当講師	2限 担当講師
2024年1月27日	土		関良基(政経)	永江貴子(外)
2024年2月17日	土	文京キャンパス見学会	太田実(商)	見学
2024年2月24日	土		前山利幸(工)	新田目夏実(国際)

##### (3) 文京キャンパス見学会

- ①日 時：令和6年2月17日（土）9：30～12：40  
②内 容：大学挨拶(井上康信常務理事)、大学紹介・入試制度説明、キャンパス見学  
③場 所：文京キャンパス E507教室  
④参加者：実践高校2年生 54名、教員7名、保護者 1名  
⑤協力職員：入学課 宇田川達也、大塚里虹、今井里香



1



2



3



4



5



6



7

### 連携講座の様子

- 1) オムニバス講座（3年生）
- 2) 英語講座（2年生）
- 3) 海外からのオンライン講座（英語・2年生）
- 4) 国語（口頭表現）講座（2年生）
- 5) 留学生との交流授業
- 6) 2年生対象特別講座
- 7) 2年生対象特別講座

令和5年度 高大連携講座  
「楽しく学んで Improve Your English Skills！」

(担当講師: 小島和枝准教授)

**■講座の目的**

映像から英語を学び「英語に興味・関心を持たせる」。そして、グローバル化に伴うグローバル・イシューについて考え、英語で発信する。能力の必要性に触れ「英語を自ら学ぶ力」を育てることを目的とする。

**■講座の到達目標**

英語の4技能（リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング）を伸ばし、自ら英語で発信できる能力を獲得する。

**■講座計画**

- 1 4月15日（土）：オリエンテーションと自己紹介（初回のみ50分）
  - ① 講座の進め方を説明した後、教材、予習・復習、配布物について説明します。その後、講座に対する質疑応答。
  - ② 自己紹介をして、海外生活で感じたこと、海外での経験談を話し、質疑応答の時間を設ける。
- 2 4月22日（土）：Lesson 1：英語ができると良いことがいっぱい！  
予習プリントの重要な単語を学び、英語ができると利点が沢山あるということについて知り、ディスカッションをして、意見を発表してもらう。
- 3 5月6日①（土）：Lesson 2：English Lessons 英語を学ぶ  
予習プリントの重要な単語を学び、英語を学ぶ環境に関する映像を見て英語を聞き、その後、ディクテーション問題に取り組み、内容を確認する。その後、グループごとにディスカッションをして、意見を発表してもらう。
- 4 5月6日②（土）：Lesson 3：Documentary ドキュメンタリー  
ドキュメンタリー映像を見て英語を聞き、グループごとに内容を確認する。その後、グループごとにディスカッションをして、意見を発表してもらう。
- 5 6月10日（土）：Lesson 4：Foreign Victors 旅行観光客  
予習プリントの重要な単語を学び、旅行観光客に関する映像を見て英語を聞き、その後、ディクテーション問題に取り組み、内容を確認する。その後、グループごとにディスカッションをして、意見を発表してもらう。
- 6 6月17日（土）：Lesson 6：What is beauty？ 美しさとは？  
予習プリントの重要な単語を学び、美しさに関する映像を見て英語を聞き、その後、ディクテーション問題に取り組み、内容を確認する。その後、グループごとにディスカッションをして、意見を発表してもらう。
- 7 6月24日（土）：Lesson 7：Jenga ジェンガで英会話  
ジェンガ（ゲーム）で英会話を楽しむ。前期最終授業なので、グループに分かれ、ジェンガを使い楽しく英会話をする。どれくらい英語力がアップしたのかを英会話を通して感じる。
- 8 9月2日（土）：Lesson 8：Living in overseas 海外での生活  
予習プリントの重要な単語を学び、海外生活をする映像を見て英語を聞き、その後、ディクテーション問題に取り組み、内容を確認する。その後、ディスカッションをして、意見を発表してもらう。
- 9 9月9日（土）：Lesson 9：The world's Happiest Countries 世界で最も幸せな国  
予習プリントの重要な単語を学び、世界で幸せな国に関する映像を見て英語を聞き、ディクテーション問題に取り組み、内容を確認する。その後、グループごとにディスカッションをして、意見を発表してもらう。
- 10 9月30日（土）：Lesson 10：Finland フィンランド  
予習プリントの重要な単語を学び、フィンランドに関する映像を見て英語を聞き、ディクテーション問題に取り組み、内容を確認する。その後、グループごとにディスカッションをして、意見を発表してもらう。
- 11 10月7日（土）：11. What can we do to help the environment?：環境問題に何ができる？  
予習プリントの重要な単語を学び、環境問題に関する映像を見て英語を聞き、ディクテーション問題に取り組み、内容を確認する。その後、グループごとにディスカッションをして、意見を発表してもらう。
- 12 10月14日（土）：Lesson 12：Waste ごみ問題  
予習プリントの重要な単語を学び、ごみ問題に関する映像を見て英語を聞き、ディクテーション問題に取り組み、内容を確認する。その後、グループごとにディスカッションをして、意見を発表してもらう。
- 13 10月28日（土）：Lesson 13：Cacao：カカオ  
予習プリントの重要な単語を学び、カカオに関する映像を見て英語を聞き、ディクテーション問題に取り組み、内容を確認する。その後、グループごとにディスカッションをして、意見を発表してもらう。
- 14 11月4日（土）：Lesson 14：What do you want to in life? 何をしたい？（←留学生との交流会の日です）  
予習プリントの重要な単語を学び、将来について考える映像を見て英語を聞き、ディクテーション問題に取り組み、内容を確認する。その後、グループごとにディスカッションをして、意見を発表してもらう。
- 15 11月18日（土）：Lesson 15：Documentary ドキュメンタリー  
予習プリントの重要な単語を学び、ドキュメンタリー映像を見て英語を聞き、グループごとに内容を確認する。その後、グループごとにディスカッションをして、意見を発表してもらう。
- 16 11月25日（土）：Lesson 16：映画  
英語の映画見てどれくらい英語力がアップしたかを感じる。グループごとにディスカッションをして、意見を発表してもらう。

**■講座の方法**

生徒の皆さん�が“講座を聞く”のではなく、“講座に積極的に参加する”という方法で講座を進めていきます。

**■予習・復習**

予習の重要な単語プリントを配布する。英単語の意味を調べ、予習をしてくることが必須。復習は、ディクテーション問題で使用したプリントを読むこと。

**■教科書・参考書**

毎時配布物を使用する。英語辞典を持参することが望ましい。尚、英英辞典にも挑戦してください。  
参考書として高等学校の教科書は最適です。

## 令和5年度 高大連携講座 「楽しく学ぶ口頭表現の技法」

(担当講師：小田貴子講師)

### ■講座の目的

皆さんは人前で話す事は得意ですか？この講座では、日本語の特徴や話し方のコツなどを知り、自分の考えや思いを堂々と話せるようになることを目標とします。また、社会に出た時に役立つ、敬語などについても学びます。

### ■講座の到達目標

自分の考え方や思いを伝えられる事、スマートに敬語が使える事、正しく「聴く」ことができる事など、コミュニケーションに役立つスキルを身につける、これが目標です。

### ■講座計画

- 1 4月15日（土）：オリエンテーション（初回のみ50分）  
「口頭表現」って何？どんな授業？皆さんは「話すこと」に関してどんな事を学びたいと思っていますか？また、人と人が会った時、実は話し始める前に大事なことがあります。果たしてそれは何？初回は、こうした内容や、これから授業の流れについてご紹介！
- 2 4月22日（土）：声を届ける～発音・发声  
日本語の発音・发声の特徴、声の出し方について学びます。美しい発音のための口の開け方や滑舌について、また、通る良い声の基礎となる、腹式呼吸についてご紹介していきます。また、ゲームを通して「話す」ことにも慣れて生きましょう！
- 3 5月13日①（土）：聞くこと①  
会話を話し手と聞き手の双方で成り立っています。話すことには比べて地味なイメージの「聞くこと」ですが、実はコミュニケーションにはこの「聞く」ことが重要なのです。ここでは話すことと同じように大切な「聞く」ことについて学びます。
- 4 5月13日②（土）：聞くこと②  
基本的な聞くことができたら、次は、聞くことを深める「傾聴」に挑戦です。グループを作って「傾聴」を体験してみましょう。
- 5 6月10日（土）：話の組み立て方  
話し上手になるはどうしたらいいでしょうか？基本的な話の組み立て方を学びましょう！話しのまとめ方のコツ、わかりやすい話し方、緊張のほぐし方などもお伝えしていきます。
- 6 6月17日（土）：魅力ある自己紹介①  
初めて会う人に自分の顔と名前を覚えてもらうためにはどんな工夫をしたらいい？また自分の特徴は何？自分を知ると「話すこと」はぐっと楽になります。ニッコリ笑顔と大きな声で「スピーチ」に挑戦してみましょう！
- 7 6月24日（土）：魅力ある自己紹介②  
自分はどんな話し方をしているのか、客観的にチェックすることで、自分の話し方の特徴がわかります。スピーチは場数を踏むことによって上達していきます。
- 8 9月2日（土）：敬語①～基礎編～  
意外に悩む、敬語の使い方。皆さんは「敬語」にどんなイメージを持っているでしょうか？ここでは敬語の基本を学びます。また、実際に敬語を使って話してみると、スピーチにも取り入れてみましょう。
- 9 9月9日（土）：敬語②～間違いやすい使われ方～  
ここでは、間違いやすい敬語の使われ方や、二重敬語などについて学んでいきます。また、敬語の成り立ちなどについてもご紹介していきます。
- 10 9月30日（土）：敬語③～まとめ～  
これまでの敬語のおさらいと、最近の「ことば」の傾向について学びます。ここ数年、問題となっている「おかしな日本語」についても取り上げます。スマートに敬語が使えるようになっていたら、ちょっとかっこいいかもしれませんね！
- 11 10月7日（土）：コミュニケーションとは？～言語と非言語～  
皆さんは家族やお友達、周りの人とどんな風にコミュニケーションを取っていますか？ここでは「コミュニケーション」について考えてみましょう！「言語コミュニケーション」と「非言語コミュニケーション」についてお伝えします。
- 12 10月14日（土）：グループプレゼンテーション①  
最近では当たり前のように使われるようになった「プレゼンテーション」。基本を学び、グループでプレゼンテーションに挑戦してみましょう！テーマは何？ターゲットは誰？スピーチの流れや役割分担をみんなで決めていきましょう！
- 13 10月28日（土）：グループプレゼンテーション②  
グループでプレゼンテーションの内容を深めていきましょう！声の大きさは？話しの流れは？など、打ち合わせやリハーサルをへて、いざ本番！笑顔で、元気に発表してみましょう！
- 14 11月4日（土）：グループプレゼンテーション③  
みんなで力を合わせた自分たちのプレゼンテーションを実際に見てみましょう！客観的に見ることによって更にいい点・改善点、他のグループとの違いなどがわかります。
- 15 11月18日（土）：「テスト」と「個人プレゼンテーションの発表」  
これまでをまとめた簡単なペーパーテストを実施します。試験の前の週には試験前レクチャーも行う予定ですので、ご心配なく。終わったあとは、「個人プレゼンテーション」に挑戦！ニッコリ笑顔と大きな声でスピーチしましょう！
- 16 11月25日（土）：総まとめ  
これまでの授業と個人プレゼンテーションの発表を振り返ります。客観的に自分の話す姿を見ることにより、自分のスピーチの良い点や改善点がわかります。この授業を通して「笑顔」で話せるようになっていたら、からの自分に自信が持てそうですね！

### ■講座の方法

プリントを読む、講座を聞くだけではなく、実際に「声を出していく」講座です。発音や滑舌練習で「声を出す」事に慣れたら、二人一組やグループでのスピーチを繰り返し、人前で「話すコツ」をつかんでいきましょう。基本を理解した後、体験を繰り返していきます。

### ■予習・復習

講座の始めには、前回の復習を行い、覚えておきたい内容などを紹介します。普段から世の中の様々な事や「言葉」に関心を持ち、自分の感受性を磨いてください。

### ■教科書・参考書

教科書は特に使用せず、その都度、講座内容に適したプリントを使用します。

## 令和5年度高大連携講座「文理融合で学ぶグローバル社会」

(担当講師: 担当複数)

### ■講座の目的

グローバル化が急速に進展する現代社会を人文科学的視点、工学的視点及び社会科学的視点の複眼的視点から概観し、その諸相を基礎的に理解することを目的とする。

### ■講座の到達目標

グローバル化が急速に進展する現代社会についての基礎的な理解を深め、日本や世界の現況について他者に初步的に説明できるようになることを目標とする。

No.	講座日	3年生	
		講師名	講座テーマ・講座内容
1	4月15日(土)	井内 千紗(商学部)	ヨーロッパの十字路ベルギーからみえる世界 九州ほどの面積しかない西欧の小国ベルギーには、グローバル社会について考えるヒントがたくさんつまっています。本講座では、日本ではあまり知られていないベルギーの言語事情、芸術文化、食文化を深掘りしながら、現代社会の読み解き方について説明します。
2	4月22日(土)	池田 朋洋(外国語学部)	「グローカル」に生きるスペイン語圏の人びと グローバル化によって世界はますます平準化・画一化していくのでしょうか? 本講義では、グローバル化の一翼を担いつつも、独自の文化や価値観をローカルな現場で柔軟かつ力強く展開しているスペイン語圏の人びとの生き方について説明します。
3	5月6日(土)	関口 美幸(外国語学部)	プレゼンテーションでコミュニケーション能力を高めよう! チャイナ+ワン(中国以外にもう一ヵ国海外製造拠点を求める)が叫ばれて久しい。本授業では、4~5人のグループに分かれ、「ペトナム」「ミャンマー」「ラオス」「カンボジア」の中から1ヵ国を選び、そのセールスポイントをプレゼンしてもらう。
4	5月13日(土)	新田目 夏実(国際学部)	国際的な人の移動と現代社会の諸問題 グローバル化には「光」の側面と「影」の側面があります。本講義では「国際的な人の移動」の増大に焦点をあて、難民、犯罪、文化摩擦など、そのような移動によってもたらされた社会的問題についてやさしく解説します。
5	6月17日(土)	石川 一喜(国際学部)	特別講座～プレゼンテーション力をアップさせよう!(1日目) 自分の「声」を持つ! ○前半: プrezentationを行う上で最も大事なことは「伝えたいものがあるか」という自分の内の問題です。そのことを著名人たちによる「伝説のスピーチ」をベースにしてレクチャーします。 ○後半: プチ演習「自分発のプレゼンにチャレンジしてみよう」 前半のレクチャーを受け、グループ内でお互いにプレゼンし合ってみましょう。実際に仲間のプレゼンを聴き、フィードバックし合う中で、どんな要素が必要で有効なのかを自分たちの中から抽出してみます。 ※事前課題あり
6	6月24日(土)	石川 一喜(国際学部)	特別講座～プレゼンテーション力をアップさせよう!(2日目) 自分のプレゼンをより輝かせるために! ○前半: 前回のフィードバックをもとにしつつ、より効果的に自分のプレゼンテーションを見せる(魅せる)ためのコツ・ヒント(art)をレクチャーします。 ○後半: プチ演習「今までない魅力的な自己紹介をクリエイトしよう」 2日間の総括として、得た学び・気づきを埋め込んだ「新しい自己紹介」をつくってみましょう。“経験は最上の教師”ですから、失敗を恐れず、新たな自分を表現しましょう。 ※事前課題あり
7	9月30日(土)	丹羽 文生(政経学部)	台湾の中の「日本」:その魅力を深掘りする かつて台湾は「日本」でした。今でも当時の面影が色濃く残っています。近年ではグローバル化の流れの中で東南アジアからの「新移民」も急増、バラエティーに富んだ文化を育んでいます。そんな表情豊かな台湾の魅力について説明します。
8	10月7日(土)	木原 幸一郎(工学部)	製図法の歴史から見る日本の技術のグローバル化 従来の日本は、より良いものを作るという製造者とそれに合わせた図面を用いることにより、世界の工業会をリードしてきました。しかし現在、製造者自体が世界に分散し、必要な図面も変化しつつあります。製図法の歴史から、日本の技術の現在と今後を考えます。
9	10月14日(土)	森原 隆(工学部)	ブロックチェーンの分散合意のしくみ ブロックチェーンなどの分散台帳技術(DLT)では、特定の機関や企業を信用することなし(トラストレス)にグローバルに合意を形成するしくみが使われています。本講では暗号技術を用いた分散合意のしくみについて説明します。
10	10月28日(土)	近藤 真宣(外国語学部)	「クール・ジャパン? 一世界は日本はどう見ているか?」 以前は「経済大国」として世界の関心を集めた日本ですが、21世紀に入り、文化大国“Japan Cool”として関心を集めています。世界が日本の何を「クール」とみなしているのかを例として、日本と世界の文化的なつながりについて説明します。
11	11月4日(土)	佐藤 丙午(国際学部)	戦争論への招待: 分裂と対立を深める国際社会の現状と展望 国際社会では、「新冷戦」や「第三次世界大戦」が始まると指摘されている。これを理解するためには、戦争について学ぶ必要がある。本講義では、インド太平洋の戦略環境、各国の軍事戦略の変化などを取り上げ、日本の軍事戦略の方向性を解説する。
12	11月11日(土)	石川 一喜(国際学部)	SDGsの折り返し地点にさしかかり、思うこと・すべきこと 今年は2030年をゴールとしているSDGsのちょうど中間点にあたります。2015年に国連が宣言してからこれまでの国際社会の取り組みや在り方を振り返りつつ、残り後半を私たちがどう意識し、アクションを起こしていくか、当事者性をもって本気で考えたいと思います。
13	11月18日(土)	堂野崎 衛(商学部)	グローバル化の進展と小売業(日本的小売市場を中心に) これまで日本的小売業は新たな市場を求めて海外へ飛び出し、また海外の小売業も魅力的に見えた日本市場に次々と参入してきました。本講座では、グローバル化の進展が日本の流通や私たちの生活にどのような影響を与えたのかについて説明します。
14	11月25日(土)	山本 尚史(政経学部)	2050年の世界に向けたシナリオを考えてみよう 皆さんが社会で活躍する2050年には世界はどうなっていると思いますか? 専門家チームが「2050年の世界はこうなる」と予測したシナリオがあります。そのシナリオを学びつつ、世界にはどのようになっていてほしいのか、あなたの考えをまとめてみましょう。

### ■講座の方法

外国语学部、工学部、国際学部等の教員を中心にオムニバス形式で、講義90分、質疑応答。レポート作成15分で講座を進めています。

また、作成したレポートの提出を各回の必須とします。

### ■予習・復習

各回のテーマについてキーワード等の関連する事項を事前に調べておくこと、また、日頃から新聞やテレビのニュース等に興味・関心を持つことが重要です。特に、“新聞を読むことを日課とする”ことを心掛け、実行してください。

### ■教科書・参考書

教科書は使用しません。必要に応じてレジュメを配付します。

## 6. 1年生対象高大連携講座説明会

総合進学コースの1年生に対し、2年生に進級時のコース選択（国際教養クラス、先進科学クラス、総合教養クラス）の参考として、本学が受け持つ連携講座（国際教養コースを選択した生徒が受講）の内容等について説明会を実施。

- ①日 程 令和5年7月15日（土） 9：00～30
- ②場 所 八王子国際キャンパス C101教室
- ③来 校 者 生徒 高校1年生 179名
- ④内 容 大学紹介・模擬講座・学生の学生生活紹介、キャンパス見学
  - ・商学部 小田貴子講師 「楽しく学ぶ口頭表現の技法」
  - ・工学部 小島和枝准教授
- ⑤模擬講座 「楽しく学んで Improve Your English Skills!」 各30分

## 8. 高尾登山電鉄株式会社：外国人観光客対応への協力

### ・・・社員英語研修への講師派遣

【高尾山への外国人観光客受入における連携協力に係る覚書】

#### 1. 事業概要

平成30年度から高尾登山電鉄社内で実施されている英語研修へ本学教員を派遣してきたもので（新型コロナ感染拡大により令和2～3年度は派遣を中止）、令和4年度より高尾登山電鉄と連携協力に係る覚書を締結し、高尾山地域への外国客観光客受入における対応力強化に協力することで、地域の発展および活性化に寄与することを目指す。本年度も工学部准教授 小島和枝先生が多様な協力活動を実施した。

#### 2. 活動報告

##### （1）事業名：案内看板等の翻訳表示アドバイス

日 程：令和5年4月20日～令和5年6月25日

内 容：高尾登山電鉄や高尾山内の案内表示の翻訳、ケーブルカー放送翻訳、  
サル園の英語版パンフレット翻訳など

##### （2）事業名：案内看板等の翻訳表示アドバイス

日 程：令和5年10月、11月

内 容：高尾登山電鉄や高尾山内の案内表示の翻訳、ケーブルカー放送翻訳、  
サル園の英語版パンフレット翻訳など

##### （3）事業名：英会話講座に係る教育指導

日 程：令和6年2月2日～3月7日のうち5日間

内 容：同社の社員研修の一環として、増加する外国人観光客への対応力強化を  
目的に、さる園係員への初級英会話講座を実施

参 加 者：高尾登山電鉄社員（サル園係員）5名



## 9. 八王子商工会議所・大学コンソーシアム八王子「出前研究室」事業への参加

### 1. 事業概要

#### (1) 事業の背景

八王子には20を超える大学に約10万人の学生が在籍しているが、卒業後当該地域に就職する学生は少ない。また、当該地域には大手の試作開発を支援する中小製造業や自社製品を持つメーカーが集積しているが、技術的課題を解決するために気軽に相談出来ない「大学の敷居の高さ」を指摘する声が多く聞かれる。八王子商工会議所ではこれらの問題を解決すべく、八王子市内で最初にキャンパスを開設した工学院大学と連携事業を推進する為の包括連携協定を締結し、特定の学部を超えた一体的な事業を実施出来る体制を整えた。

#### (2) 「出前研究室」の現在の仕組み

協定を交わした工学院大学・八王子商工会議所で運営が始まり、年間20社（1社あたり2件）の相談を想定した。その後、本取り組みは東京都から単年度補助（期間未定）を受ながら拡充され、八王子市内10大学・専門学校と提携するに至っている。

#### (3) 事業概要及び目的

八王子市内の中小企業（工場・事務所）に直接大学等の教員や学生が出向き、講義や技術相談等の協力をを行う取組。この取組を通じて産業界と高等教育機関の交流を促し、製品開発や共同研究等を通じ地域の活性化に資することを目的とするものである。

#### (4) 「出前研究室」参加による企業・大学等のメリット

- ①学生の「中小企業」への理解促進と市内中小企業への就職率の向上
- ②経営課題やニーズを相互で把握することによる産学協同研究への発展
- ③中小企業の従業員や大学の若手研究者等の人材育成

## 2. 実績報告

### ◆相談 1 件：工学部 前山利幸先生

- (1) 日 程：令和6年2月21日（水）  
(2) 場 所：八王子国際キャンパス 工学部棟2階 前山研究室実験室  
(3) 内 容：自動車用添加剤と静電気の関係についての専門的相談  
(4) 参 加 者：工学部 前山利幸先生、相談企業代表者1名、八王子商工会議所 所員2名

## 10. 中学生のための夏休み いちょう塾

### 1. 事業概要

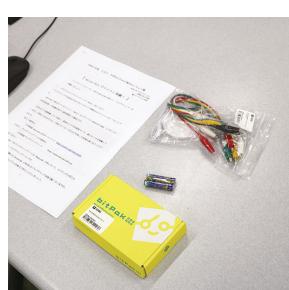
八王子国際キャンパスにて「拓殖大学・大学コンソーシアム八王子」共催による中学生のための特別講座を実施した。これは、大学コンソーシアム八王子により小中高大連携事業として毎年夏休みに開催する「(小学生向け) 子どもいちょう塾」の受講対象を、中学生に拡大するための実証開講に本学が協力したものである。

- ・目的 夏休みに加盟大学等の特色を活かした特別講座を開講し、生徒の学ぶことへのモチベーションを高め、将来の進路選択の一助とともに、加盟大学等に対する関心を高める。
- ・条件 八王子市に在住または在学する中学1～3年生を対象に、内容等詳細は加盟校が設定し、大学コンソーシアム八王子は講座リーフレットを市立中学校全学年に配布するとともに、開講に係る一部費用等を負担する。

### 2. 開催報告

#### ◆中学生のための特別講座「大学で学ぼう —マイコン入門講座—」

- (1) 日 程：令和5年7月29日（土）10：30～12：00  
(2) 場 所：八王子国際キャンパス 工学部棟1階 エレクトロニクス実験室1  
(3) 内 容：教育用マイコンとして世界的に広く利用されている microbit を使って、簡単なプログラミングを体験し、マイコンの仕組みを学ぶ  
(4) 講 師：工学部 前山利幸先生、吉森茂先生  
(5) 受 講 者：中学生10名、保護者15名（定員10名）



左・中央) 講座の様子、右) 教育用マイコン

## 11. 八王子市「南浅川水辺環境活用」の提案

【八王子市と拓殖大学との包括連携に関する協定書】

### 1. 事業概要

多摩川に注ぐ16の一級河川の源流を有する都市である八王子市では水辺空間を活用する取り組みを進めており、工学部デザイン学科では「ソーシャルデザイン・演習」の演習課題として南浅川を舞台に人々が水辺に滞留する空間づくりを設定した。履修学生により空間づくりの施策を検討・提案し地域社会の活性化を目指す取り組みを進めている。

### 2. 活動報告

《活動に係る協議等》

#### ◆南浅川の水辺活用に向けて現地調査

日 時：令和5年11月9日（木）

場 所：浅川河川敷公園、八王子市役所他（八王子市元本郷町）

参加者：工学部 永見豊先生、学生30名、八王子市水環境整備課職員2名

内 容：履修学生による現地調査と八王子市水環境整備課による河川利用の説明など

#### ◆南浅川の水辺活用提案発表会

日 時：令和6年1月18日（木）

10:00～13:00

場 所：八王子国際キャンパス

工学部棟4階演習室2

参加者：デザイン学科

演習履修学生34名

八王子市水環境整備課職員6名

工学部 永見豊先生、羽倉先生（助手）

内 容：学生による活用案提案

プレゼンテーション



#### ◆「南浅川水辺環境活用」の提案 八王子市議会議員来訪

日 時：令和6年2月19日（月）10:00～11:30

場 所：八王子国際キャンパス 管理研究棟8階理事会議室

来訪者：八王子市議会議員 馬場貴大 氏、八王子市役所水環境整備課 奈良智明課長

大 学：井上康信常務理事、山田政通副学長、工学部 永見豊先生、

上條聰視八王子事務部長

内 容：・全般的な情報交換・「南浅川水辺環境活用」の提案について具体的な説明

## 12. 岐阜県美濃市 美濃和紙あかりアート展参加

### 1. 事業概要

美濃和紙あかりアート展は、1300 年の歴史を誇る伝統産業の「美濃和紙」の再生と、後に重要伝統的建造物群保存地区に指定される「うだつの上がる町並み」の活性化・ブランド化を目的とし、平成 6 (1994) 年に美濃市観光協会の美濃市制 40 周年記念事業として開催された。その後、継続事業となり、29 回目の開催となる。美濃和紙を使用したあかりのオブジェを一般・小中学生の両部門で全国から一般公募し「うだつの上がる町並み」に 2 日間にわたり屋外展示し審査が行われる。本学は平成 15 (2003) 年度より参加しており、多数の作品が入賞している。

### 2. 実績報告

#### ◆作品の出展および地域交流

- (1) 展覧会名：第 30 回美濃和紙あかりアート展
- (2) 日 程：1 部 10 月 8 日(日)～21 日(土) 2 部 10 月 22 日(日)～11 月 30 日(木)  
点灯時間：午後 5 時～午後 9 時(1 部、2 部共通)
- (3) 場 所：岐阜県美濃市
- (4) 内 容：展覧会への出品に係る費用の補助を実施
- (5) 出 品 者：工学部デザイン学科生活デザインコース学生
- (6) 参 加 者：工学部教授 白石照美先生、阿部眞理先生
- (7) 入 賞 者：ライトアップ賞・・・デザイン学科 3 年 牧岡那真「不完全」  
ほか 入選 3 点・あかりの町並み賞(奨励賞) 10 点



左) うだつのあがる町並み  
右) ライトアップ賞作品

## 拓殖大学社会連携・社会貢献の方針

拓殖大学は、大学は公共的役割を担う存在であるとの重要性を認識し、積極的に大学情報を国内外に発信すると同時に大学が有する教育・研究の成果、各種施設、ネットワーク等の知的・物的資源の社会への還元を進めていく。

拓殖大学は、これまででも社会の要請に応えるべく、社会連携・社会貢献や国際社会への協力・貢献にも目を向け、種々の施策を進めてきた。

具体的には、大学間及び高大連携、自治体との共催や連携の講座開設、区民や市民大学への講座科目の提供、本学の特色を生かした海外派遣・公開講座・資格取得講座の開設、また、地域社会との連携を目指しての地域行政機関への協力、企業との連携、地域の各種イベントやスポーツ大会を通じた本学学生・外国人留学生と地域住民との交流、教育施設や運動施設の開放などである。

さらに、学生の海外地域活性化プロジェクト参加やボランティア活動参加が、将来の社会の担い手となる学生の国際性や公共へ寄与する意識の醸成に有意義であることから、引き続き推進していく。

また、社会連携・社会貢献を含め教育・研究の展開には、その裏付けとなる財政基盤の確立・充実は不可欠であり、拓殖大学の自主的財源の確保の観点から、その経済的支援の拡大にも努めていく。

拓殖大学の目指す方向は、グローバル化が進展する社会において、国際的視野で地域社会の課題解決にも貢献できる「社会に開かれた国際大学」であり、地域社会と共生し、地域社会から信頼される存在となることである。

### ◎「拓殖大学地域連携センター」について

本学の教育・研究成果の知を基盤として国内外の地域社会との交流及び活性化に貢献すること、また、学外諸機関とも連携して学生の実践的学修に資することを目的として、平成30年4月1日に八王子国際キャンパスに設置致しました。

尚、同センターの主な事業は、下記の通りです。

1. 地域社会及び学外諸機関との連携・交流・協働に係る活動の推進に関する事項
2. 地域社会及び学外諸機関との連携に係る協定作業に関する事項
3. 地域社会の課題等についての調査・研究に関する事項
4. センターの情報発信に関する事項
5. その他センターの目的を達成するために有益な事項

◎令和5年度地域連携センター会議委員

1.	センター長 副学長	山田政通
2.	副センター長 工学部准教授	永見 豊
3.	委 員 商学部准教授	中嶋嘉孝
4.	// 政経学部教授	山本尚史
5.	// 外国語学部教授	居村啓子
6.	// 外国語学部教授	近藤真宣
7.	// 工学部教授	工藤芳彰
8.	// 工学部教授	佐々木整
9.	// 国際学部教授	藍澤淑雄
10.	// 国際学部教授	徳永達己
11.	// 八王子事務部長	上條聰視（事務統括）
12.	// 八王子学務課長	遠藤秀幸（教学関係担当）
13.	// 八王子総務課長	杉本 栄（事務担当）
14.	// 八王子学生支援室長	高木真一（学生関係担当）
15.	// 八王子国際課長 担当理事	染谷和男（留学生関係担当） 河田昌一郎
	担当理事	井上康信

◆事務局：八王子事務部八王子総務課

## 令和5年度（2023年度）地域連携センター事業報告書

令和6年9月25日発行

編集兼発行人 八王子事務部八王子総務課  
発 行 所 拓殖大学

〒193-0985  
東京都八王子市館町815-1  
<https://www.takushoku-u.ac.jp/>

---

地域社会と共に



TAKUSHOKU UNIVERSITY

■拓殖大学は、公共的な役割を担う存在として、地域社会と共生し地域社会から信頼される存在となるよう、地域社会が大学に何を求めているかを具体的に把握し、本学が何ができるかを検証し、地域貢献事業を積極的に展開していきたい。